IV 調査結果の要約

I 地域防災について

○ 地域ごとの避難地や避難場所を知っている人は7割強

地域ごとの避難地や避難場所を「知っている」は71.4%、「知らない」は27.4%となっている。

○ 家族で落ち合う場所を決めている人は4割強

事前に家族で落ち合う場所を「決めている」は44.8%、「決めていない」は54.9%となっている。

○ 洪水・土砂災害ハザードマップが「どこにあるかわからない」人は4割強

洪水・土砂災害ハザードマップの保管場所は「どこにあるかわからない」は43.1%、「引き出しなどにしまっている」は38.1%、「目の届くところにおいてある」は9.9%となっている。

○ 自主防災組織の存在を知っている人は2割弱

自主防災組織を「知っている」は16.6%、「知らない」は80.8%となっている。

○ 自主防災組織を知っている人のうちで、訓練に参加したことのあるのは4割強

訓練に参加したことが「ある」は43.8%、「ない」のは53.1%となっている。

○ 自主防災組織の訓練に参加したことがない人のうち、今後参加の意欲のある人は5割強

参加する気持ちが「ある」は51.5%、「ない」は39.0%となっている。

II 市の広報活動について

○ 市政情報の入手方法で、多いのは「市政だより」で7割強（複数回答）

情報の入手方法は「市政だより」73.9%、ついで「自治会の回覧板」40.8%、「新聞などのマスコミ関係」32.0%となっている。

○ 東大阪市政だよりを読んでいる人は9割弱

東大阪市政だよりを「必ず毎号読む」は39.1%、「ときどき読む」は47.0%となり、合わせた86.1%の人が読んでいる。

○ 東大阪ケーブルテレビで、市の広報番組「虹色ねっとわーく」を見ている人は3割弱

「ほとんど毎日見ている」は1.2%、「週に数回見ている」は3.6%、「月に数回」は22.4%となり、合わせた27.2%の人が見ている。

○ 東大阪市のホームページに、アクセスしたことがある人は3割弱

「アクセスしたことがある」は28.9%、「アクセスしたことがない」は69.4%となっている。

○ 市ホームページで知りたい項目が見つかった人は9割強

「すぐに見つかった」は33.3%、「検索したら見つかった」は23.1%、「色々なところをクリックしたら見つかった」は35.3%となり、合わせた91.7%の人が知りたい項目が見つかった。

○ 市ホームページにアクセスしたことがある人のうち、「イベント情報」「くらしのガイド」を充実したほうがよいとの回答は4割強（複数回答）

充実したほうがよいとの回答は「イベント情報」44.0%、「くらしのガイド」42.0%、「トピックス」38.7%となっている。

Ⅲ 東大阪市の情報化について

- パソコンあるいは携帯電話を持っている世帯は9割強（複数回答）
パソコンのある世帯は46.8%、携帯電話のある世帯は91.2%、両方ない世帯は6.0%となっている。
- インターネットの利用で多いのは「情報収集・ホームページ・ブログの閲覧」で4割強（複数回答）
「情報収集・ホームページ・ブログの閲覧」は44.7%、「電子メールの送受信」は29.8%、「ソフトウェアのダウンロード」19.5%となっている。
- ホームページ内の地図「ひがしおおさかe～まちマップ」の利用者は少ない
パソコン・携帯電話のある世帯で「ひがしおおさかe～まちマップ」を利用したことのあるのは6%となっている。
- 「ひがしおおさかe～まちマップ」利用者で、情報が見つかった人は5割強、操作方法がわかりやすいと回答した人は5割弱（複数回答）
「求めている情報が見つかった」は53.3%、「操作方法はわかりやすかった」は46.2%となっている。
- インターネットを使った市のサービスで希望しているのは、「ごみ・リサイクルに関する情報の充実」で2割強（複数回答）
希望しているサービスは「ごみ・リサイクルに関する情報の充実」20.6%、「保健・医療・福祉に関する情報の充実」18.6%となっている。
- 電子市役所を目指すうえで重要だと考えているのは、情報化技術を活用した事務の効率化・コスト削減の促進で3割強（複数回答）
「情報化技術を活用した事務の効率化・コスト削減の促進」は31.8%で、「個人の情報やプライバシーの保護」は28.7%となっている。

IV 住み続けたいまちづくりについて

○ 今後も東大阪市に住み続けたい人は7割弱

東大阪市に住み続けたいと思うかは「はい」は67.7%、「いいえ」は26.7%となっている。

○ 市の34項目の取組のうち、そう思うとの回答が最も多いのは、「歴史や伝統を大切にすまち」となっている。

そう思う回答が多いのは、「歴史や伝統を大切にすまち」40.5%、「男女が共に生き生きと暮らすまち」39.2%、「上下水道によって安全・快適に暮らせるまち」33.8%、「安心して子供を生み、育てられるまち」33.2%、「安全で便利な交通機関や道路のあるまち」32.2%、「開かれた市役所のあるまち」32.2%となっている。

V 「救急安心センターおおさか」について

○ 「救急安心センターおおさか」を知っている人は2割弱

「救急安心センターおおさか」を知っていると回答した人は、19.9%となっている。

○ 「救急安心センターおおさか」は、「ケガや病気をしてどうすればよいかわからない時」に利用すると回答した人が6割強（複数回答）

救急安心センターおおさかをどのような時に利用するかは、「ケガや病気をしてどうすればよいかわからない時」63.1%、「かかりつけ病院が休診等で受診できない時」58.5%、「どこの病院へ行けばよいかわからない時」54.6%となっている。

○ 「救急安心センターおおさか」を知ったのは、東大阪市の広報紙で5割強（複数回答）

救急安心センターおおさかを知ったのは「東大阪市の広報紙(市政だより等)を通じて」53.6%、「テレビを通じて」46.7%、「新聞を通じて」43.1%となっている。

○ 「救急安心センターおおさか」利用した事のある人の状況は、「救急車を利用していいのか迷う時」が1割強（複数回答）

利用したときの状況は、「救急車を利用していいのか迷う時」は11.1%、「どこの病院へ行けばよいかわからない時」は10.8%、「かかりつけ病院が休診等で受診できない時」は10.1%となっている。

VI 健康について

○ 喫煙率は2割強

現在も「吸っている」と回答した人は21.5%、「過去に吸っていたが今はやめた」は34.6%となっている。

○ 現在吸っている人では、「吸う本数を減らしたい」が4割弱

喫煙者では「吸う本数を減らしたい」35.0%、「やめたいとは思わない」34.4%、「やめたい」25.7%となっている。

○ 飲酒については、「ほとんど毎日、または週に何回か飲む」人は3割弱

「ほとんど毎日、または週に何回か飲む」26.2%、「たまに飲む」は38.2%となっている。

○ 「ほとんど毎日、または週に何回か飲む」人で、1日に日本酒換算で1～3合未満の飲酒は4割強

ほとんど毎日、または週に何回か飲む人の1日の飲む量は「1合～3合未満」40.3%、「1合まで」30.2%、「3合以上」23.0%となっている。

○ 「節度ある適度な飲酒」の量を知っているのは5割弱

節度ある適度な飲酒の量を「知っている」46.2%、「知らない」49.0%となっている。

○ 普段から適度な運動を行っている人は2割強

週2回、30分以上の運動を行っている人は21.2%となっている。

○ 普段から適度な運動を行っている人のうちで、1年以上継続して行っている人は8割強

1年以上継続している人は81.6%となっている。